



可能性を信じて

心
あ
っ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

下町ロケットというドラマを覚えていますか？中小企業のおじさん達がロケットをとばす夢を努力で実現させていくお話です。阿部寛さんが「いいおっさんが夢見て、何が悪い」と言っていた熱い内容です。そのモデルと言われる人がTedに出演していました。一部をご紹介します。植松努さんは、植松電機の専務取締役をこなしながら、民間の宇宙開発にたずさわっている方です。努少年の夢は飛行機やロケットの仕事をするのでした。学校の先生には夢みたくないことを言っていないでテスト勉強しなさい！と言われたそうです。先生が言っていた「どうせ無理」という言葉についてのお話なるほどです。

以下スピーチより)

人間の自信と可能性を奪ってしまふ最悪の言葉です。でも、とつても簡単な言葉なんです。これを唱えるだけで何もせずに済んでしまうから、とつてもらくちんになれる恐ろしい言葉でもあるんです。こんな言葉で未来を諦めさせられてしまった人たちは自信を失ってしまふんです。でも人間は生きていくためにはどうしても自信が必要なんです。だから自信をなくしてしまつた人たちの中には、お金で自信を買う

ようになったって、身を飾るようになったり、また、それを自慢しなくてはいけなくなったり、そのために人を見下すことをしてしまつたり、他の人が頑張ったら困るから努力を邪魔するようになつてしまふと思うんです。こういう人が皆さんの身の回りにも、もしかしたらいるかも知れません。でも、その人たちは自信をなくしてしまつた可哀想な人たちなんです。その人たちが自分の自信を守りたくて、しようがなく他の人の自信を奪つてしまつているのかもしれない。さらには僕の会社にアフリカの人たちが来てくれました。彼らは僕の話聞いてくれた後で教えてくれました。今、アフリカでは自分なんて勉強したつて無駄だ、努力したつて無駄だつて、自分の未来や可能性を諦めてしまつた人たちが最後には人を殺して奪うようになるんだそうです。なぜならば、頑張れないから生み出せないから奪うしかないんです。暴力で奪うこともできます。でも、他にも嘘をついたり、弱いフリをしたり、騙したりして、奪うこともできるんです。皆が奪つてしまつたら社会なんか成立しないんです。僕はこの「どうせ無理」という言葉の恐ろしさを知ることができました。僕はこの「どうせ無理」を人間って最初は知らなかつたはずだ、いつ僕たちはこんな言葉を覚えてしまふんだらうつて考えたんです。それが宇宙かなと思つたんです。宇宙は美しいです。誰もが小っちゃい頃に1回は憧れるんです。でも皆さんは自分が宇宙開発できると思つていますか？宇宙なんてよつぽど頭が良くないと凄くお金がかかると思ひ込んでいませんか？国家を教えると思ひ込んでいませんか？誰がそれを教えてくれましたか？こんなことを教えて

くれるのは、やったことがない人なんです。やったことがない人が適当なやらない言い訳を教えてくれるんです。そのせいで僕たちは何をしたいのかわからなくなるのです。何が出来るかもわからなくなつてしまふんです。だからこそ僕は、「どうせ無理」という言葉を無くそうと思ひました。これが無くならつたらいじめや暴力や戦争がなくなるかも知れない。児童虐待もなくなるかも知れないと思ひました。だから、僕は誰かがどうせ無理だと思ひついている宇宙開発をしてみようと思つたんです。

編集後記

たつた一言が作用する大きさに驚きました。そこに気づいて、世の中のために自分から変えようと努力されたことに感動です。言葉は大事です。希望を持ち続けられる言葉を人に向けていきたいと思ひました。そして自分もやらなくはない言ひ訳にしない。人は可能性がいつぱいなのだと思ひます。